

国営かんがい排水事業 「津軽北部二期地区」

国営総合農地防災事業 「十三湖地区」

干拓の歴史を 未来へつなぐ

津軽土地改良建設事務所

津軽北部二期農業水利事業建設所
十三湖農地防災事業建設所

前歴事業 ～ 干拓の歴史 ～

1 国営十三湖干拓土地改良事業(昭和23～44年度)

本地区は、岩木川と十三湖に接する極めて低い排水不良な低平地で、岩木川の洪水や十三湖の水位上昇による逆潮に伴う塩害等の水害を絶えず被る地域でした。

国営十三湖干拓土地改良事業は昭和23年に着工し、逆潮の防止や農地周辺の用排水施設整備による排水不良地・超湿田の解消を図るとともに、芦野頭首工の築造による農業用水の安定確保と十三湖の一部干拓による開田を行い、昭和44年度に竣工の運びとなりました。



事業着手前の田植え風景



芦野頭首工

2 国営津軽北部土地改良事業(昭和57～平成9年度)

国営十三湖干拓土地改良事業で、整備された農地は、年月を経る毎に干拓地の宿命でもある地盤沈下により、用排水施設の機能が著しく低下し、機械排水に依存してきた本地区では、多様な農業経営を行う上で大きな支障となりました。

国営津軽北部土地改良事業は昭和57年に着工し、水田の汎用化促進のための排水改良と一部用水改良等を行うため、国営十三湖干拓土地改良事業で、造成された施設の更新及び改良等を行い、平成9年度に完成し、現在に至っています。



若宮機場



幹線排水路

3 本地域の農業用施設の現状

本地域(五所川原市、つがる市、中泊町)は、現在、県内有数の農業地帯となりました。

しかし、国営十三湖干拓土地改良事業及び国営津軽北部土地改良事業により整備された施設は、劣化が進行し再び維持管理費が増加するとともに、安定的な農業用水の確保等が困難になってきております。

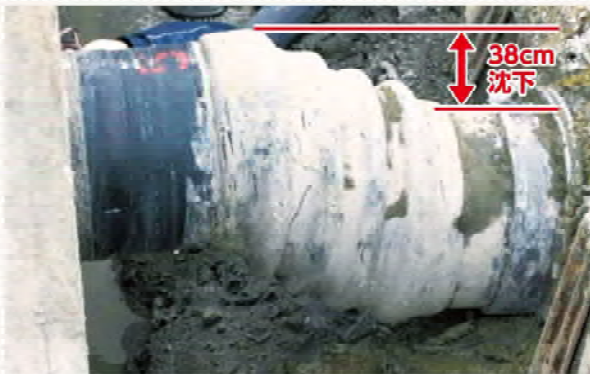
このため、国営かんがい排水事業「津軽北部二期地区」にて、制水門や揚排水機場、幹線揚排水路の改修を行うとともに、国営総合農地防災事業「十三湖地区」にて芦野頭首工を改修することにより、災害の未然防止、農業生産性の維持・向上と農業経営の安定化を図ります。

津軽北部二期かんがい排水事業 ①

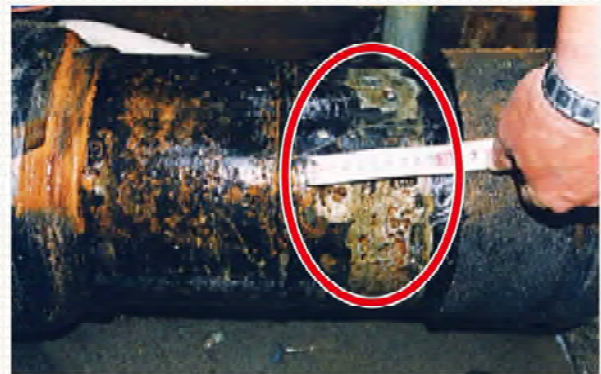
1 事業の目的

前歴事業で整備された基幹的な農業水利施設で発生する、パイプラインの可とう管の不等沈下や鋼管部、ポンプ羽車及び排水路鋼矢板等の腐食進行などの経年的な劣化に対応するため、制水門、揚排水機場、幹線水路及び幹線排水路を改修することにより、農業用水の安定供給、排水機能の維持及び施設の維持管理の費用と労力の軽減を図ります。

また、一部のほ場区画が狭小で、かつ排水不良であり、効率的な営農にも支障を来しているため、併せて関連事業であるほ場整備が実施され営農の合理化、農業生産性の向上と農業経営の安定が図られることとなっています。



可とう管の沈下



パイプラインの腐食



ポンプ羽根車の腐食



鋼矢板の腐食

2 関係市町・受益面積

受益面積 (関係市町別)	五所川原市	つがる市	中泊町	計
	597ha	3,457ha	2,158ha	6,212ha

3 事業工期

事業予定工期

平成27年度～令和8年度(12か年)

※指定工事は令和6年度まで